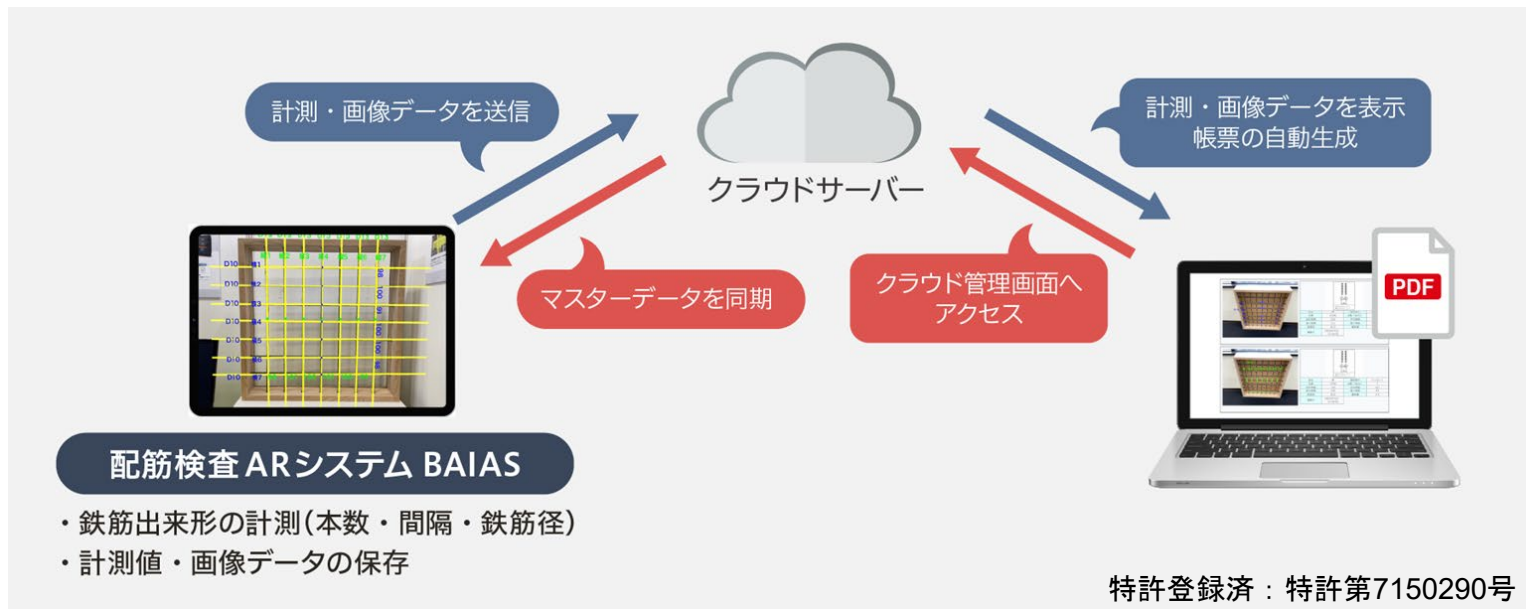


配筋検査ARシステムBAIAS (バイアス) は、iPad Proで鉄筋コンクリート構造物の配筋検査を1名でも簡単に実施できるシステムです。

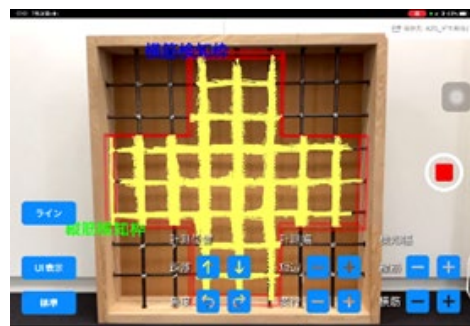
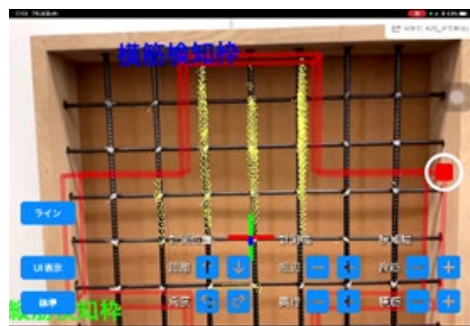
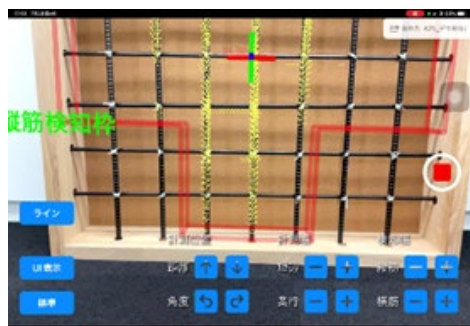
(令和3年に村本建設株式会社と共同開発)

※BAIASは、Bar Arrangement Inspection AR Systemの略称です。

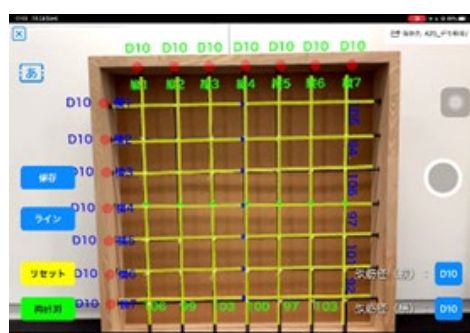
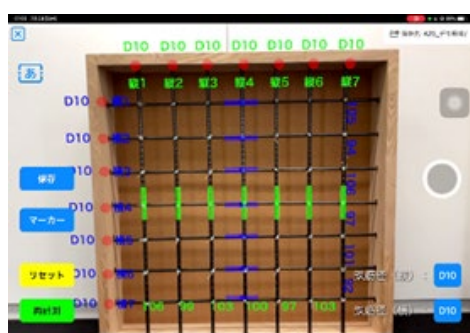


iPad Pro のLiDARスキャナ機能を利用した鉄筋計測

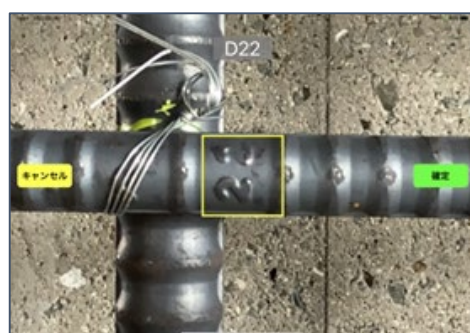
iPad ProのLiDARスキャナ機能で取得した鉄筋の3次元点群データから鉄筋情報を検知して配筋間隔の計測を瞬時に行い、画面内にライン（またはマーカー）および配筋間隔の数値をリアルタイムに重畳表示します。画面内の黄色枠を鉄筋に合わせることで、D10～D51までの12種類の鉄筋径計測も可能です。



3次元点群データ取得



重畳表示された計測結果
(左：マーカー表示 右：ライン表示)



鉄筋径の計測

BAIASの導入効果（耐震補強工事の生産性向上）

従来は配筋検査時に1～2名の作業者が写真用クロスロッドやリボン、マーカー等を使用して検査していましたが、BAIASはiPad Proのみで検査が可能になるため、準備が不要となり作業者1名で完結できます。

今までの
配筋検査

2人体制 30分
1人体制 50分



2人20分（1人40分）

準備・計測・立合検査
・片付け

1人10分

検査帳票
作成

BAIAS導入後の
配筋検査

1人 15分



自動計測

9分

検査
帳票
作成

6分

約50～70%短縮

BAIASは計測結果をクラウド上に保存できるため、現地での検査後、クラウド上にある検査写真を選択するだけで帳票が自動で作成され大幅な時間短縮が図れます。

配筋検査システム

画像選択

デモ現場

全選択 全解除

1階

壁

主筋

印刷

デモ現場

部位	位置	測定箇所	本数 [本/m]
位置	X方向	本数 [本/m]	7
設計間隔	100	平均間隔	99
最大間隔	106	最小間隔	92
鉄筋径	Ø10	検定値	
撮影日	2022/07/28	17:56:53	

BAIASは海外でも購入可能なiPad Pro上で動作するため、アプリ配信により日本国内はもちろん、海外の現場でも、iPad Proさえ手元があれば、すぐ最新バージョンを利用できます。